

さいとう健×茂木友三郎×寺島実郎

- 日時：9月28日（日）PM2:00～PM4:00
- 場所：東京理科大学野田校舎（薬学部13号館）
- 参加費 500円（どなたでも自由に参加できます）



VS



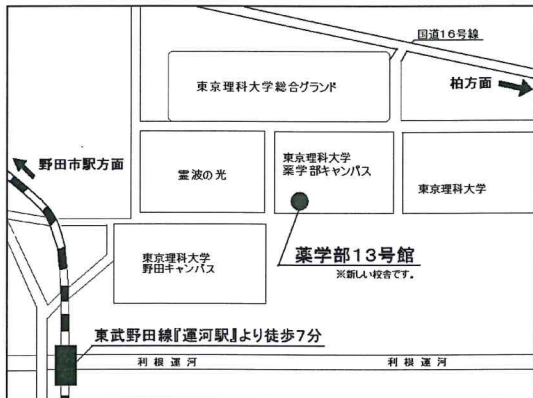
VS



参加申込用紙

お名前	(フリガナ)
	(その他 名)
連絡先	ご住所 (〒 -)
	お電話

FAX.04-7157-6224



東京理科大学へのアクセス

(住所：野田市山崎 2641)

定員は500名となります。なお、準備の都合上9月27日までに、FAXか郵送で申し込み下さい。当日の直接来場も可能ですが、立ち見になる場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

駐車場の数が非常に少なくなっております。電車でのご来場にご協力下さい。

※当日は各所に案内係を配置します。

なりますと、早期解散・総選挙で民意を問うしかない、そういうことにならざるをえません。

また、この国会では、インド洋での給油・給水協力活動を継続させる法案も最重要課題です。イラクはともかくとして、アフガニスタンの情勢は緊迫度を高めており、アメリカでは、オバマもマケインもアフガニスタンへは増派すると言っており、もちろん、NATOも活動強化の方向です。そんな中で、わが国が、インド洋の沖合いで油と水を入れるという、この程度の活動からすらもさよならをするということは、ありえない選択だだと、さいとう健は考えます。

インド洋から撤退だという民主党の主張は、絶対に日本のためになりません。人が困っているときに協力しなければ、自分が困ったときに誰

も助けてくれない。これが国際社会の現実です。インド洋での協力活動は、何よりも日本のためであること忘れてはなりません。

総理が代わっても、「ねじれ国会」は変わりません。新しい政権になっても、こういう重要課題が、ねじれ国会によって全く前進しない、そういうことになり、責任政党としては、最後は民意を問わなければ



地域の祭りで神輿に挑戦！（松戸市）

ならないということになりましょう。自民党の逆風は承知の上です。しかし、この国のために本当に必要なんだというこれらの重要政策を正面から主張して、この戦いに臨んでいかねばなりません。どうやら、来るべき選挙は、政党、あるいは、政治家の真の力量が問われる闘いになりそうです。私自身も、この国のためと信じる政策の実現のために、腹を据えて取り組んでいきたい。

平成20年9月吉日

さいとう 健



さいとう 健 メールマガジン配信中！ ※ホームページからご登録できます。詳しくは <http://www.saito-ken.jp> をご覧下さい。